



録画配信の
2次元コード

橋本 亜矢

日本共産党



録画配信の
2次元コード

酒井 英男

健政会

市民の安全とこどもの心の安全

◆鉄道駅の無人化

Q 鉄道駅を無人化することによって、市民が不利益を被るという認識は市にあるのか。

A **市民部長** 事前連絡によって係員が対応したり、また、改札横のインターホンで急な案件に対応する旨の説明を受けている。今後も引き続き、鉄道事業者に対し、利便性の向上と安全性の確保を要望していく。

◆航空祭時の特別な許可について

Q 航空祭において、特別な許可を得て飛行を行っていることは連絡されているのか。

A **企画財政部長** 入間航空祭の展示飛行については、開催する旨の通知を9月に受けており、航空法に基づく許可を適切に取得した上で実施されるものと承知している。

◆不登校の支援として夜間中学などの新たな取り組みは

Q 全国では様々な形の不登校への支援事例があるが、市として今後新たな支援を行う考えはあるか。

A **学校教育部長** 今年度より新たにスペシャルサポートルームの設置や教育支援センター茶レンジルームひだまりの増設を行ったところであり、まずはこの2つの取組に注力していく。



災害時の安否確認には 防災アプリの活用を(災害対策)

◆防災訓練

Q 安否確認を実施した自治会数とその結果は。

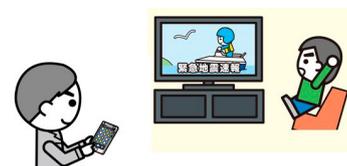
A **危機管理監** 安否確認訓練を実施した自治会は99自治会であり、安否確認訓練には約3万3,000人の市民が参加し、安否が確認できたのは約2万7,600人で、確認率は約84%であった。

Q 防災アプリの導入により、安否確認が簡単になり、災害情報の共有も迅速化できる。また、自治会や市の負担が軽減され、デジタル回覧板などの機能を備えたアプリもあり、防災に限らず幅広く活用できるが防災アプリの導入の考えは。

A **危機管理監** 多くの市民に利用していただくためには、平時にも利用できる機能が重要と考えるので、防災アプリの導入については、他の部署とも連携を図り検討していく。

Q 今後の防災訓練はどのように実施していくのか。

A **危機管理監** 今回はフェスタ方式での防災訓練や、討議型の災害対策本部図上訓練にチャットツールを活用した防災姉妹都市との情報連携訓練を組み入れた。また、ペット同伴の避難講座を実技指導つきで開催したほか、さきに発足した災害医療救護に特化した機能別消防団員を講師に招き、避難所での健康的な過ごし方等に関する講座を開催するなど、きめ細やかな訓練も実施した。今後も、激甚化、頻繁化する災害に備え、地域の実情に応じた訓練を導入するなどして、訓練内容の充実を図っていく。



安否確認をスマートフォンで送信

その他のテーマ▶情報システムのセキュリティー対策について